

真宗東派

『真宗概要』を全文公開

嵯峨の本願寺はこのほ
れだ。

ど同寺のホームページに
僧侶養成のテキスト『真
宗概要』の全文を公開し
た。大谷光道法主は「前
門様（光暢・前法主）の
時代にできたテキスト。
ぜひこれを知つてほし
い」と話している。

『真宗概要』は195

3年に真宗大谷派の教化
研究所が編集したテキス
トで、89年に現在の『淨
土の真宗—真宗概要』
に改訂されるまで用いら
れている。今回の公開は刊

行から70年以上が経過
し、著作権法上の制約が
なくなつたためといふ。

『真宗概要』は真宗史
の概説と真宗教義の概説
の2編で構成される。近
代史に関する主要人物の
項目では現如上人、石川
舜台、渥美契縁、井上円
了、南條文雄、村上専精
と並んで「精神主義を唱
えて一世を風靡した清澤
満之」とある。

教学を奉じる「改革派」
と激しく対立した結果、
大谷派と袂を分かつた同
寺では現在も「宗門白
書」以前に作成された
『真宗概要』を僧侶養成
業成の項があるほか「安
心と生活」の項では眞俗
のテキストとして使用し

など興味深い。
なお、大谷派の僧侶養
成テキストの改訂は新宗
憲制定翌年の82年に設置
された「教師養成のため
の教科書編纂委員会」で
検討され、86年の『教團
のあゆみ—真宗大谷派教
団史』、87年の『大乘
の仏道—仏教概説』
（その後、2016年に
さらに全面改訂）を経て
89年に『淨土の真宗—真
宗概要』が刊行されて
いる。

眞宗教義の概説では改
悔文や御文に関して「た
すけたまえとたのむ」の
解釈についての項や平生
業成の項があるほか「安
心と生活」の項では眞俗
の行信をえた人が、如来
の真実に生かされた人生
を生きていく、そのあゆ
みにほかならない」など
と、いわゆる「現世（現
生）往生」的な解釈が示
されている点などに大き
な違いが見られる。
これには編纂委員会の
委員でもあつた寺川俊昭
氏（元大谷大学長）の往
生理解が色濃く反映され
ていると指摘する研究者
の説もある。

嵯峨の本願寺と大谷派
は対立する関係にあるこ
とに十分留意する必要が
あるが、双方のテキスト
比較を通して東本願寺教
團の現代史を考えてみると
、最も面白いかもしだ